



光れ！そえひの子



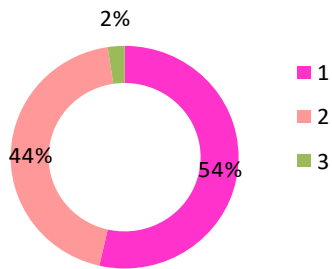
1学期末に実施した学校評価アンケートの結果をお知らせします

【児童評価】

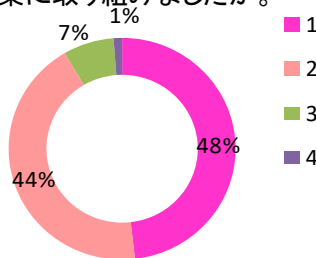
1 とてもそう思う 2 そう思う 3 そう思わない 4 とてもそう思わない

1学期をふり返って(児童評価)

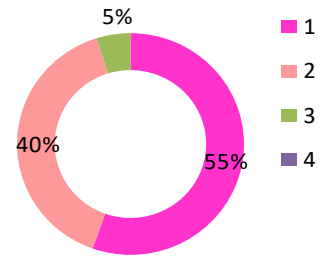
1. 自分から、あいさつ・返事・「ありがとう」が、言えましたか。



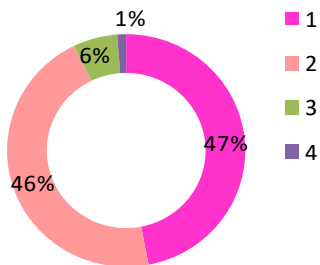
2. 自分の考えを伝えたり、分からないところは先生や友だちに聞いたりしながら、自分から進んで授業に取り組みましたか。



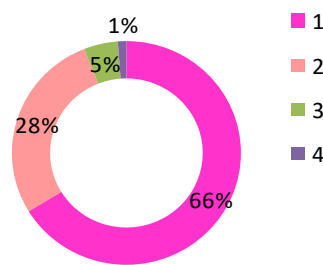
3. 授業で、「わかった」「できた」を増やすことができましたか。



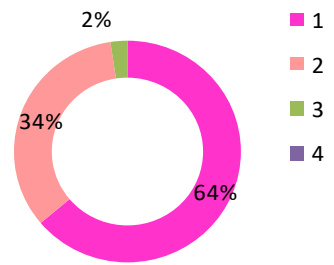
4. 授業中、自分の考えや友だちが考えをもとに、聞き合ったり話し合ったりしながら、自分の考えを深めることができましたか。



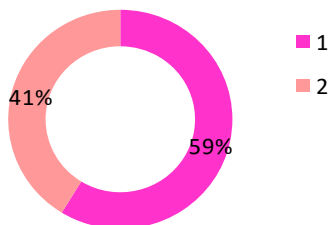
5. のびのびと歌をうたっていますか。



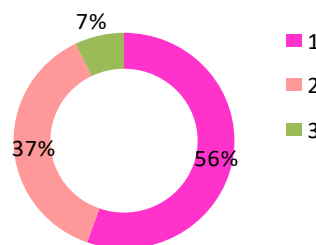
6. 他の学年の人と力を合わせて、そうじをしたり、お互いを大切にすることができましたか。



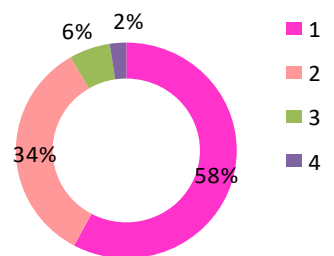
7. 友だちのよいところがわかり、みとめあい、協力しあって、がんばろうとしましたか。



8. 学校の先生たちは、話をよく聞いて、がんばっていることをほめたり、はげましたりしてくれましたか。



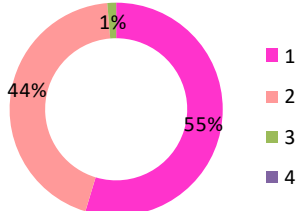
9. 「学校は楽しい」と思いますか。



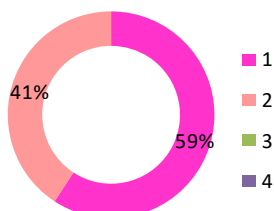
【保護者評価】

1 とてもそう思う 2 そう思う 3 そう思わない 4 とてもそう思わない

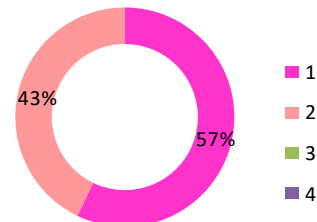
1. 学校は、返事や挨拶、感謝の言葉などを伝え合い、コミュニケーション力を高める指導を行っていると思いますか。



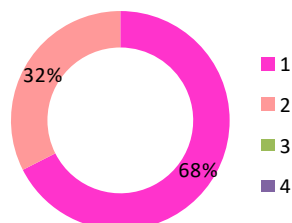
2. 学校は、子ども達が、本気になって取り組める授業や活動をつくりだすことに努めていると思いますか。



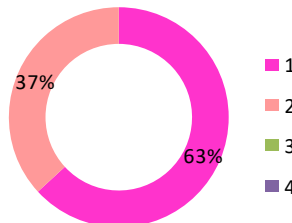
3. 学校は、「わかった・できた」という喜びが自信へとつながる授業づくりに努めていると思いますか。



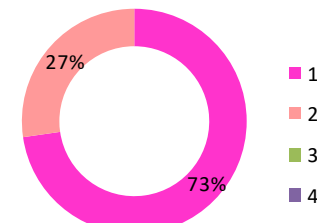
4. 学校は、友だちとの活動や話し合いなどを通して、友だちのかかわりから学ぶ授業に努めていると思いますか。



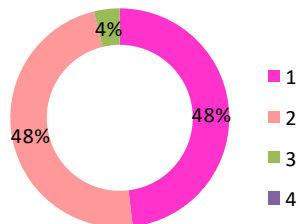
5. 学校は、子どもが自分の思いを伝えたり表現したりする力をつけることに努めていると思いますか。



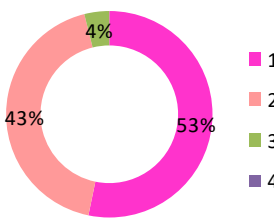
6. 学校は、友だちとともに身体を動かしたり、互いに認め合い、心を合わせる活動を通して、がんばる気持ちが育つ支援ができていますか。



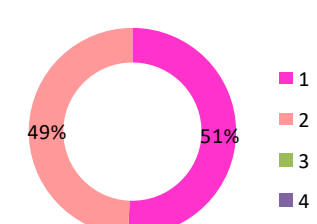
7. 学校は、子ども達の様子に目を配り、友だち関係や実態をつかみ、きめ細やかな指導を行っていると思いますか。



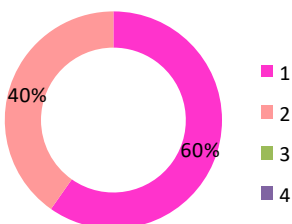
8. 学校は、コロナ禍であっても、工夫しながら教育活動の充実に努めていると思いますか。



9. 学校だよりやホームページ、学年通信などで、「子ども達の様子」や「学校の願い」の情報発信に、努めていると思いますか。



10. 学校は、子ども達にとって、「楽しい学校づくり」に努めていると思いますか。



【 考 察 】

1 児童自己評価から

今年度は質問項目に「主体的学び」となっていたかを、児童自身が意識できるよう質問項目1、2、4に「自ら～」「自分の考え～」の文言を加えました。

▼すべての設問において、「とてもそう思う」「そう思う」の割合が90%以上になりました。1学期も新型コロナウイルス影響を受ける中で活動となりましたが、1人1台のタブレット端末を使った学習にも慣れ、新しいスタイルの学習が子ども達に受け入れられてきている様に思います。「自分から…」の文言が加わった項目では「とてもそう思う」から「そう思う」にややトーンダウンした評価となっていますが、それだけ自らを省みる力がついてきているとも考えられます。主体的・対話的となる学習が自身の評価を高められるよう教育活動を仕組んでいきたいと思えます。

▼「他の学年の人と力を合わせて、そうじをしたりお互いを大切にしたりすることができましたか」と「友だちの良いところが分かり、認め合い、協力し合って頑張ろうとしましたか」は、肯定的な回答がどちらも昨年に引き続き98%・100%と、高い評価でした。

▼「学校の先生たちは、話をよく聞いて頑張っていることを褒めたり、励ましたりしてくれるか」「学校は楽しいか」は92%と多くは肯定的ですが、7～8%が否定的な回答をしている子がいます。日頃の様子について、担任だけではなく全ての職員が目きめ細かな支援ができるよう、気を配りたいと思えます。



2 保護者評価から

▼10項目中7項目で「とてもそう思う」「そう思う」が100%と肯定的な回答をいただきました。例年通りの活動が難しい状況下ではありますが、本校の取組にご理解とご支持をいただいていることに深く感謝いたします。

▼今年度新設した項目「学校は、子ども達の様子に目を配り、友だち関係や実態をつかみ、きめ細かな指導を行っていると思いますか」に「とてもそう思う」「そう思う」が96%と肯定的な評価をいただきました。とはいえ、子どもたちの様子は、日々刻々と変化していきます。学校が十分な情報を元にきめ細かな支援ができますよう、ご意見を頂きながら、子どもたちに向き合っていきたいと思えます。

▼多くの温かな励まし、貴重なご意見を糧に、年度後半、以下の様に取組んで参ります。ありがとうございました。

3 令和4年度の後半に向けて

(1) 安全・安心を基本に、協働的な学びの機会を。

新型コロナウイルスの感染状況に配慮しつつ、学級のなかまや異学年・地域の方との学習機会をできるだけ確保します。多様な他者の考えや思いに触れ、自分自身を成長させられる学びができるよう学習形態を工夫しながら、指導・支援して参ります。

(2) 「自分の『ことば』で伝え合える」ための指導・支援

「自分の思いや感じたことを言語化する力」に向けた授業研究に、全職員で取り組んでいます。表現したいと思える素材(地域素材)に触れる中で、自ら伝えたい思いを育て、表現して

いく活動につなげていきます。そのために、1人1台のタブレット端末の一層の有効利用と、表現したいことをスキルとして身につけるSST(ソーシャルスキルトレーニング)にも力を入れていきます。

